



ホリスティックケア
ジャパン代表
相原由花氏

臨床アロマセラピー

子どもたちにアロマセラピーのハンドマッサージをしています。

重心の子どもたちはハンドだけでなく
必要と思われる身体にも実施いたします。



アロマセラピーは植物からとったよい香りのする精油を使う療法です。精油がもつ心理的な効果と薬理作用、マッサージによるタッチの効果を組み合わせ、こころ良い感覚を脳へ伝えていくことで、心とからだに良い影響を及ぼします。私は重症心身障害や自閉症などをもつ子どもたちにアロマセラピーをさせていただいています。子どもたちの筋緊張や関節の拘縮がやわらぎ、循環が良くなって冷たかった手足が温かくなってきます。何よりも笑顔やリラックスした表情を見せてくれて、アロマセラピーを楽しんでくれている様子をととても嬉しく思っています。香りを届けること、触れることは言葉ではないコミュニケーションとなります。子どもたち一人一人の状態に合わせて、アロマセラピーがお役にたつように、良い時間を過ごしていただけますようにと願います。

ホリスティックケアプロフェッショナルスクール主任講師 柴田由紀子氏